



式典で北原会長（右）に署名を手渡す前後町長



正之公について基調講演する渡邊あゆみさん

## 伊那市との親善交流書締結10周年

学びいなどで記念式典行い盛大に祝う

長野県伊那市と猪苗代町の親善交流書締結 10 周年記念式典は 9 月 20 日、学びいで行われ、出席者が交流の節目を祝うとともに、今後のさらなる交流の伸展を誓い合いました。

式典では、町親善交流事業実行委員会長の前後公町長のあいさつに続き、同委員会委員長の佐藤正猪苗代観光協会会長が交流の経過を説明。会津松平家第 14 代当主の松平保久氏らが祝辞を述べました。式典の終わりには、前後町長から正之公の大河ドラマ化実現を願う町民の署名を伊那市の「名君『保科正之公』の大河ドラマをつくる会」の北原紀孝会長に手渡しました。

式典に続き、NHK 総合「歴史秘話ヒストリア」案内役の渡邊あゆみさんによる基調講演などが行われました。

### 猪苗代町と長野県伊那市（旧高遠町）の交流

猪苗代町と旧高遠町は会津藩祖の保科正之公が会津に入る前、高遠藩主を務めていたことが縁で、長らく友好親善の絆を結んできました。この絆を末永く継承するとともに、両町のさらなる親善と交流の契機とするため、平成 16 年 9 月に親善交流書を締結しました。

高遠町と伊那市の合併後は伊那市に親善交流書が引き継がれ、伊那市で行われる正之公の生誕祭や高遠城下まつりには、毎年本町の町民が参加するなど、現在まで活発な交流を続けています。



前後公町長らにインターハイでの活躍を報告した富岡高バドミントン部の選手たち

東京電力福島第一原発事故の影響により町内で活動が続ける、富岡高バドミントン部の選手らは 8 月 26 日、町役場を訪れ、全国高校総体（インターハイ）での活躍を報告しました。8 月 1 ～ 6 日に千葉市で開かれた同大会では、団体で大会史上初となるアベック優勝の快挙を達成。男子シングルスで古賀穂選手が優勝、男子ダブルスで渡辺勇大選手・三橋健也選手のペアが準優勝するなど好成績を残しました。

## 強い！富岡高＆猪苗代中バド部が今年も全国大会で大活躍

猪苗代中バドミントン部の選手らは 9 月 8 日、町役場を訪れ、8 月 19 ～ 22 日に愛媛県西条市で開かれた全国中学校体育大会での活躍を報告しました。団体の女子は 4 連覇、男子は準優勝に輝きました。女子シングルスで主将の高橋明日香選手、男子ダブルスで金子真大選手・久保田友之祐選手のペア、女子ダブルスで永井瀬選手・由良なぎさ選手のペアがそれぞれ優勝するなど今年も大活躍しました。



前後公町長らに全国大会での活躍を報告した猪苗代中バドミントン部の選手たち



壮行会に出席した選手団の皆さん

町選手団メンバー（敬称略）

【監督】秋山博道

【コーチ】磯川洋一、渡部安秀

【スコアラー】土屋義仁

【選手】佐藤作一（主将）、細矢充、関政則、長谷川政勝、加藤健嗣、野口裕貴、白川啓太、渡部重男、磯川泰宏、渡部貴広、渡部洋一、長峰淳、佐藤智彰、土屋優太、穴澤進也、増子慎弥、五十嵐義人

## 町の代表が市町村対抗県ソフトボール大会の健闘を誓う

10 月 18 日に開幕する第 1 回市町村対抗県ソフトボール大会の町代表選手団壮行会は 9 月 22 日、学びいで開催されました。式では、前後公町長が「勝敗はもちろんのこと、他チームとの交流を深め、思い出に残る大会にしてほしい」とあいさつを述べ、秋山博道監督、佐藤作一主将らに用具を手渡しました。秋山監督は「優勝を目

指して頑張るので応援をよろしくお願いします」と力強く抱負を述べました。

猪苗代町チームの初戦は、10 月 18 日午前 11 時から、相馬市の相馬光陽ソフトボール場で行われます。対戦相手は鮫川村チームです。皆さんの応援をよろしくお願いします。



協力してごみを拾い集める生徒

## 和気あいあいと清掃、交流

猪苗代養護学校と猪苗代高が合同で湖を清掃

猪苗代養護学校の高等部と猪苗代高は 9 月 5 日、合同で猪苗代湖の志田浜を清掃しました。養護学校高等部の生徒 17 人と猪苗代高 1 年 1 組の生徒 29 人が参加し、協力しながらたばこの吸いながら花火の燃えかすなどを熱心に拾い集めました。猪苗代高の吉田廉さんは「意外とごみが多かった。雨で早めに切り上げることになり残念だったけど、交流を図りながら仲良く清掃することができてよかったです」と話しました。

## 元プロ選手から基本の大切さ学ぶ

東北楽天ゴールデンイーグルス野球塾

「東北楽天ゴールデンイーグルス野球塾」は 9 月 6 日、楽天イーグルス猪苗代球場で開かれ、町内の中学生たちが元プロ野球選手から基礎練習の大切さを学びました。野球塾には町内 3 中学校の野球部員合わせて約 30 人が参加。同球団ジュニアコーチの山崎隆広さんと川岸強さんが打撃や投球、守備の基本などを熱心に指導しました。終了後、野球塾を招いた町内のボランティア団体 N G 倶楽部（大石正道会長）から各校にボールが贈呈されました。



走塁の指導を受ける野球部員たち





85歳を迎えた人の代表者に座布団が手渡されました



## いつまでもお元気で

カメリーナで敬老の集いを開催

平成26年度町敬老の集いは9月13日、カメリーナで開かれ、町内の70歳以上の高齢者約650人が出席しました。前後公町長、小檜山ナミ子町婦人連絡協議会長があいさつした後、85歳を迎えた各地区の代表者に特別記念品の座布団を手渡しました。その後行われた演芸では、町婦人連絡協議会の皆さんや猪苗代幼稚園、さくらこども園の園児などが歌や踊りを披露。高齢者の皆さんは楽しそうにステージを眺め、笑顔あふれる集いとなりました。



高齢者の皆さんを笑顔にした、園児たちの踊り

## 町の代表が全力を尽くす

市町村対抗県軟式野球大会

第8回市町村対抗県軟式野球大会は9月14日、本宮市のしらさわグリーンパーク野球場などで1回戦が行われ、同球場で猪苗代町チームが棚倉町チームと対戦しました。チャンスを着実にものにした棚倉町チームに対し、猪苗代町チームはなかなか流れをつかむことができず、0対8で敗れましたが、町の代表として全力でプレーしました。相手投手の攻略に苦しみ中、秦和輝選手は2安打を放つ活躍を見せました。選手の皆さんお疲れさまでした。



開会式に臨む選手たち

## ガーナ高校生が異文化体験

町を訪問し町民と交流を深める

8月26日から9月1日にかけて、ガーナの高校生たちが町を訪問しました。「ガーナよさこい支援会」の支援活動の一環で、3年前にも来町しています。ガーナの高校生たちは滞在期間中、町国際交流協会の会員らの案内で野口記念館などを見学したほか、町内の家庭にホームステイするなどし、町民と交流を深めました。8月27日には猪苗代高校を訪れ、生徒たちと一緒に体育の授業に参加したり、浴衣に着替えて茶道の体験をしました。



猪苗代高校の生徒からお茶の作法を教わるガーナの高校生

## 交通事故防止へ決意新たに

交通安全町民大会

第22回町交通安全町民大会は9月21日、町農村環境改善センターで開かれ、約200人の出席者が交通事故防止に向けて決意を新たにしました。

町交通対策協議会長の前後公町長のあいさつに続き、猪苗代警察署の竹田正人署長が町内の交通情勢について説明。ふくしま被害者支援センターの廣木康二専務理事による記念講演も行われました。終盤には「子どもや高齢者の交通事故防止に努める」などとする大会宣言を採択しました。

大会の席上では、交通安全功労者や交通安全ポスターコンクールなどの表彰が行われたほか、アトラクションとしてD-Brothersによるヒップホップダンスが披露されました。(表彰の受賞者は下記のとおり(敬称略))



写真上 交通安全優良事業所の表彰を受けた皆さん  
写真左 大会に合わせて開かれた「ふれあいキャンペーン」では子どもたちが白バイやパトカーに乗って大喜び

【町交通対策協議会表彰】▶交通安全功労者＝大泉照勝、野澤弘一郎、渡部永一、秋山四十三、土屋一豊▶交通安全活動協力者＝氏田泰昭、東條泰治、鈴木正憲、大川原智、金子達士、星野常喜、壽田吉伸、鈴木恵美子、鈴木高▶交通安全優良学校＝猪苗代小、長瀬小▶交通安全優良事業所＝猪苗代タクシー有限会社、猪苗代生コン株式会社▶交通安全優良団体＝三城潟観光協会、千里地区区長会  
【小学生交通安全ポスターコンクール表彰】▶町交通対策協議会長賞

＝笠間彩心(千里2年)、堤聖也(同4年)▶町議会議長賞＝湯澤光琉(千里3年)、東條泰駿(猪苗代6年)▶町教育委員会教育長賞＝齋藤紗(千里2年)、本多悠(長瀬5年)▶猪苗代地区交通安全協会会長賞＝鈴木日奈子(吾妻2年)、長嶺歩美(長瀬5年)▶猪苗代地区安全運転管理者協会会長賞＝野澤さくら(猪苗代1年)、渡部奈央(千里4年)▶安全運転管理猪苗代地区事業主会長賞＝加藤碧唯(猪苗代3年)、笠間花(千里4年)

## 「失敗を恐れず、挑戦し続けて」

学びいなで鈴木猛史選手が講演会

ソチ冬季パラリンピック金メダリストの鈴木猛選手(駿河台大職員、猪苗代高卒)は8月31日、学びいなで「失敗を恐れず、チャレンジすることが可能性を広げる」と題し講演しました。猪苗代高校の全校生徒や町民など大勢の来場者を前に、今までの競技人生などについて語りました。講演の最後には「夢を実現するためには、挑戦し続けることと感謝の気持ちを忘れないことが大切」とメッセージを送りました。



大勢の来場者を前に講演する鈴木選手

## 湖の水環境改善を目指して

猪苗代湖の水草回収活動が始まる

「清らかな湖、美しい猪苗代湖の水環境研究協議会」と「ロータリー猪苗代湖水環境協議会」による漂着水草回収活動が天神浜で9月13日に始まりました。腐敗すると水質汚濁の原因となる水草を回収し、湖の水環境を改善するため毎年実施しているもので、今年で5年目になります。この日は約70人が参加し、湖岸に打ち上げられた水草を引き上げ、コンテナに集めました。この活動は11月9日まで、毎週土、日曜日に実施されます。



湖岸に打ち上げられた水草を集める参加者たち